

## 次代を担う学生に海運について紹介

### ～神戸大学海事科学部希望者対象の講演会、東京海洋大学海洋工学部2年生対象本船見学会 東京海洋大学海洋工学部及び神戸大学海事科学部オープンキャンパスについて～

当協会は、2008年7月に人材確保タスクフォースを設置し、船員教育機関(大学、高専、海事教育機構)とも連携しつつ、優秀な日本人船員(海技者)確保のための様々な広報活動等を展開している。その一環として、この度、次の事業を実施した。

#### 1. 神戸大学海事科学部1年生を中心に希望者を対象とした講演会

2014年7月18日、神戸大学海事科学部(深江キャンパス)において、1年生を中心に希望者を対象とした課外講演会を実施した。



講演会の様子

講演会では、まず今年当協会が作成した「日本の海運」DVDを上映、その後、田中海務部長から海運業界と海技者への関心を深めることを目的に「外航海運業界の紹介～生活を支える基幹産業における海事科学部の意義」という題目で、海運業の概要や将来性、海技者のキャリアパスについての説明があった。

講演後の質疑応答では、聴講した学生から、船会社からみた商船系国立大学の位置づけやその強み、学生時代に準備しておくべきことや就職活動について質問が出され、これまでの業務体験等を踏まえた講師の回答に学生達は真剣に耳を傾けていた。

#### 2. 東京海洋大学海洋工学部2年生を対象とした本船見学会

日本郵船のご協力の下、当協会は2014年7月23日、大井コンテナターミナルで東京海洋大学海洋工学部の2年生を対象とした「本船見学会」を開催し、学生6名及び教員1名がコンテナターミナル及び荷役中の日本郵船コンテナ船「NYK OLYMPUS」を見学した。

当日は、日本郵船 石津暢久一等航海士の引率によりターミナル見学を行った後、本船に向かい、NYK OLYMPUS 船長より同船の航海・荷役の概要について説明を受けた。その後、ブリッジや機関室等を見学、船内各設備についても説明を受けた。

今回の見学会に参加した学生は、いずれも商船の内部を实际見たのは初めてで、巨大なエンジンやブリッジの航海機器、設備に大きな関心を示していた。



大井コンテナターミナル見学の様子



本船見学の様子

### 3. 東京海洋大学海洋工学部及び神戸大学海事科学部オープンキャンパスへの協力

2014年7月25日に東京海洋大学海洋工学部、8月8日に神戸大学海事科学部深江キャンパスにおいて、高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスが開催され、当協会もこれに協力した。

東京海洋大学では、海運産業や海技者の仕事について講演する機会を得たことから東京海洋大学のOBでもある商船三井大森彰船長が講演を行った。

また、両大学ともに当日は同学部が、卒業後の進路等について相談を受けるべく設置した「相談コーナー」に、当協会のブースが設けられた。

ブースを訪れた高校生や保護者からは、海運業界の将来性、海技者の業務内容やキャリアパス、

待遇、また仕事で必要とされる英語力に関する質問等が寄せられ、東京海洋大学では当日講演も行った大森船長が、また神戸大学では海事科学部のOBでもある川崎汽船の細見岳良船長が丁寧に対応した。

当協会では、今後も船員教育機関と連携しつつ、優秀な日本人海技者確保に向けた活動を継続していく。



大森船長 講演の様子



相談コーナーの様子（写真左（東京海洋大学にて）大森船長、同右（神戸大学にて）細見船長）